

令和6年度北海道訓練センター実動対抗演習第4運営 【16普連・4施大】

琴の海

(発刊)
大村東彼防衛協会
(印刷所)
つじ印刷
(TEL)52-3230



大村駐屯地 QR



大寒波による大雪に覆われる2月上旬の日出生台演習場

第16普通科連隊(連隊長1等陸佐 土肥崇紀)及び第4施設大隊(前大隊長 2等陸佐 赤尾広徳)は、令和7年2月7日(金)から2月13日(木)までの間、日出生台演習場で実施された令和6年度北海道訓練センター実動対抗演習に参加した。

2月7日(金)に行われた編成完結式において連隊長は、訓練開始にあたり隊員に対し、「任務達成」「変化への適応」「本気」の3点を要望事項に掲げ、「全員で、変化に適応し」「本気」を出し切って「任務を完遂」する。」と述べた。また、本演習の作戦名を「凌龍作戦」とし、状況を開始した。

演習間、酷寒と曇天の大寒波の中、全隊員が任務の完遂の為、土気旺盛にして各人に与えられた任務を積極かつ正確に遂行した。

また、第4施設大隊第1中隊は、第16普通科連隊の攻撃支援として参加し、攻撃支援任務を遺憾なく完遂した。

本演習を通じて、部隊の練度と現状を正しく認識するとともに、連携を深め、更なる精強な部隊になるべく邁進する。

「任務完遂」 凌龍作戦



攻撃前進(16普連)



狙撃手による敵情監視(16普連)



中隊長による命令下達(16普連)



攻撃のための道路拡幅(4施大)



連隊長による訓示



砲塔を指向するMCV(4偵戦大)



障害処理(16普連)



連隊長による戦闘指導



座標を確認する隊員(16普連)



第16普通科連隊
第3中隊長
3等陸佐 木村 譲



第16普通科連隊
本部管理中隊長
1等陸尉 中元 淳弘



第363会計隊
大村派遣隊長
1等陸尉 新谷 国洋



第4施設大隊 大隊長
2等陸佐 富宿 剛



第4施設大隊
第3中隊長
1等陸尉 金石 武将



第16普通科連隊
第4中隊長
1等陸尉 山家 澄人

着任部隊長等 紹介

統率方針 「任務の完遂」
要望事項 「職務の全う」
「技術の錬磨」